

全9色のカラー別お花畑に約20,000株のお花が咲き誇る！ 「FLOWER GARDEN 2025」詳細決定！

3月28日(金)より横浜赤レンガ倉庫にて開催

押しグッズと一緒に楽しめるカラー別の“フォトスポット”や、幻想的な雰囲気で魅せる夜のライトアップも。
キッチンカーや週末マルシェで春のお出かけをさらに満喫！最終日はお花の無料配布も実施。

横浜赤レンガ倉庫では、2025年3月28日(金)から4月20日(日)の計24日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『FLOWER GARDEN 2025』を開催します。コンテンツの詳細が確定しましたのでお知らせいたします。



会場イメージと販売商品一例

本イベントは、“横浜の春の風物詩”として2007年の初開催時からご好評をいただき今年で開催19回目を迎えます。

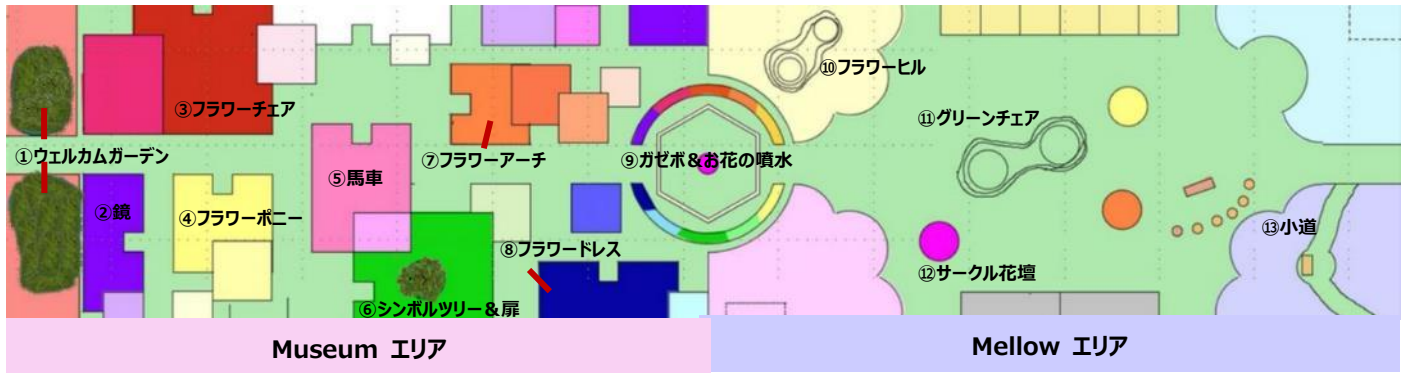
今年のテーマは「^{フラワーミュージアム}Flower Museum」。横浜港を望む約1,200㎡の広大な敷地に約20,000株、約50種類のお花が咲き誇ります。会場では、赤・青・黄・緑・ピンク・紫・オレンジなど全9色のお花をカラー別に鑑賞いただけるほか、各色のエリアにはお花で形作る“アート作品”を展示。^{ミュージアム}西洋の雰囲気が漂う屋外型のお花の美術館を演出します。

その他、カラー別のお花畑を背景にアクリルスタンド・ぬいぐるみなどと写真が撮れ、“^{ミュージアム}押し活スポット”としてもおすすめのお花畑や、エディブルフラワー（食用花）を使用したスイーツを販売する春らしいキッチンカーや週末マルシェ、お子様向けの遊具を設置したプレイエリア、昼間とは異なる幻想的な雰囲気を魅せる夜のライトアップ等、幅広い方に様々な角度からお楽しみいただけるコンテンツもご用意しています。

<会場の見どころ>

会場内は「^{フラワーミュージアム}Flower Museum」をテーマに、「^{ミュージアム}Museumエリア」と「^{メロウ}Mellowエリア」の2つのお花畑エリアに分かれます。会場入口付近は中世ヨーロッパの荒廃している中にも美しさを感じる独特な雰囲気から始まり、続く「^{ミュージアム}Museumエリア」にある展示作品は美術が発展していた近代ヨーロッパの雰囲気、その先に広がる「^{メロウ}Mellowエリア」は芝生で誰もがリラックスできる現代ヨーロッパの優しい雰囲気を表し、会場全体で“^{ミュージアム}西洋美術の時代の移り変わり”を感じていただけます。

また、今年は会場各所に小さなテーブルやフォトフレーム、ミニチェアなどをご用意し、アクリルスタンドやぬいぐるみなどの押しグッズを置いて、押しと“押し色空間”と一緒に写真が撮れるフォトスポットを10箇所以上設置します。



ミュージアム
【Museumエリア】

赤・青・黄・緑・ピンク・紫・オレンジなど全9色のお花がカラー別に咲き誇る中、各テーマカラーに合わせてお花で形作られた“アート作品”を展示します。各アート作品付近にはミニチェア等をご用意し、**押しグッズとのフォトスポット“押し活スポット”**としてもご利用いただけます。会場中央にはヨーロッパの庭園をイメージした**お花の“噴水”**を設置し、まるで**西洋の美術館**に訪れたかのような空間を演出しています。BGMには中世ヨーロッパをイメージしたルネサンス風の音楽や、ホルンやティンパニーなど心が弾む音源を流し、耳でも西洋の雰囲気をお楽しみいただけます。

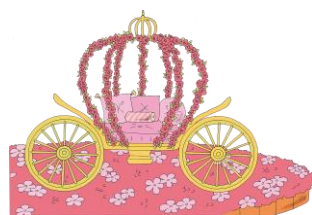
●カラー別のお花イメージ



●フォトスポットイメージ



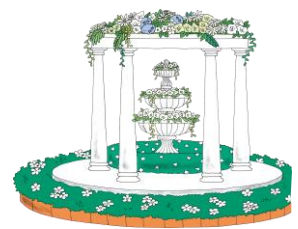
フラワーポニー(④)



馬車(⑤)



フラワードレス(⑧)



ガゼボ&お花の噴水(⑨)

- ①ウェルカムガーデン：家の中から木が生えているかのような構造物を設置し、中世ヨーロッパの荒廃した中にも美しさを感じる独特な雰囲気演出。
- ②鏡：紫基調のお花で装飾した西洋アンティーク調の鏡。鏡越しの写真で春の思い出の一枚に。
- ③フラワーチェア：赤基調のお花で装飾した西洋アンティーク調の椅子。ぬいぐるみ等を置いて押し活をするのもおすすめ。
- ④フラワーポニー：中世ヨーロッパの騎士をイメージした黄色いお花のオブジェ。
- ⑤馬車：ピンク基調のお花を巻き付けた、横浜・馬車道とも繋がりがあがる馬車のオブジェ。
- ⑥シンボルツリー & 扉：緑基調の空間の中に高さ約5mのシンボルツリーと扉を設置。
- ⑦フラワーアーチ：オレンジを基調にしたお花が巻き付いたアーチを設置。
- ⑧フラワードレス：青基調のお花で装飾したドレスのオブジェから顔を出すと、まるで着用しているかのようなお写真に。
- ⑨ガゼボ&お花の噴水：ヨーロッパの庭園をイメージ。噴水からは8色のお花が溢れているような演出に。

【Mellowエリア】

パステルカラーの淡く優しい色調のお花畑で、リラックスできる空間を演出。贅沢に“お花に囲まれる”感覚を存分に味わっていただけます。Mellow エリアにもミニチェア等をご用意しており、春らしい思い出の一枚を撮影するための「フォトスポット」は“推し活スポット”としてもおすすめ。また、お花を見るだけではない楽しみも。エディブルフラワー（食用花）を使用した生ドーナツやクレープを販売する春らしい「キッチンカー」や、週末ごとにテーマを設けた「週末マルシェ」も登場します。芝生の「プレイエリア」には、木製の滑り台や、丸太を使用したステップ台等、お子様にも楽しんでもらえるような遊具を設置します。BGM にはクラシック音楽を流し、リラックスいただける空間を作ります。

●パステルカラーのお花イメージ



●フォトスポットイメージ

- ⑩フラワーヒル：お花畑の中に丘が登場。お花の丘を背景に写真撮影いただけます。
- ⑪グリーンチェア：波のような高低差のある芝生のくぼみに座ると程よくフィットし寛げます。
- ⑫サークル花壇：エリア中央にお花で彩る丸い花壇を3つ設置。
- ⑬小道：お花に囲まれた小道は様々な角度から春らしいお写真を撮影いただけます。

●キッチンカー・週末マルシェ

【キッチンカー】

●10+Flowers

生ドーナツ



神奈川県産のエディブルフラワーをふんだんに使用。生地を15時間寝かせて作る、クシュッとふわっとした食感が特徴の生ドーナツ。

●バタフライピーラテ



バタフライピーを使用したハーブラテ。鮮やかなブルーのラテにレモン果汁を注ぐと紫色に。2度楽しめるドリンクです。

●Fleur Crepe

フラワーストロベリークレープ



甘酸っぱい苺と美しいエディブルフラワーをたっぷり使用した、見た目にも華やかな一品です。ひと口食べれば、苺のフレッシュな甘さと爽やかなミントの香りが広がり、まるで春の訪れを感じるような幸せな気分。

●フラワースパークストロベリー



エディブルフラワーの美しさとフレッシュな苺の甘酸っぱさが織りなす、爽やかで華やかなスパークリングドリンク。一口飲めば、きらめく泡とともに広がる苺の風味と、ほのかに香る花の優雅な香り。フルーティーで心地よい刺激が、春のそよ風のように爽やかに駆け抜けます。

【週末マルシェ】

フラワーマルシェ 開催日：3月29日(土)、30日(日)

お花にまつわるグッズやワークショップを展開

●fuacha 花茶と果茶専門店

ばら花冠茶



夜明け前に日を浴びていないばらの花を摘み、低温で形を残したまま乾燥させました。カップにお湯を注ぐと花が開き豊かな香りに包まれるお茶です。

●G+Flower

フェミニンフラワー



不織布というしっかりとした素材で作る、ふわふわした可愛らしい形状のお花です。小さいお子様から大人まで、簡単にお作りいただけます。

アガベマルシェ 開催日：4月5日(土)、6(日)

アガベ界の人気ショップが一堂に会す夢のアガベマルシェ



葉の先端のとげや鋸歯が獰猛な獣を連想させ、その姿がワイルドかつスタイリッシュで格好いいことから、今若者を中心に新しいサブカルチャーとして絶大な人気を誇るアガベ。今回はそんなアガベの希少なブランド種からビギナーお勤めの入門種まで数多く取り揃え、さらにサボテンやコーデックスなど多種多様な珍奇植物などを対面販売します。

押し活マルシェ 開催日：4月12日(土)、13日(日)

カラー別のブーケが作れるワークショップなどを実施

●L.i.F design

フラワーワークショップ”Make a Bouquet”



好きな押し色のお花を選んで自分だけのブーケを作ろう！飛び込み参加型ワークショップです。

●海楓社

色とりどりのクッキー



自社の玄米粉と野菜の色素と天然の甘みで作った植物性のクッキーは、彩り豊かでお子様でも安心して召し上がっていただけます。

ドッグマルシェ 開催日：4月19日(土)、20日(日)

ワッペンやロンパースなど、愛犬家にはたまらない専門店が出店

●tanumaison

ドッググッズ、オーダーアイテム



タヌメゾンのワッペンでうちの子グッズ作ってみませんか？限定アイテムもご用意してお待ちしています。

●Chick&Can

ドッグウェア



レトロでPOPなお花柄デザインのロンパースを、愛犬サイズにセミオーダーで作成します。

<注目コンテンツ>

■煌めく幻想的な雰囲気チェンジ！夜のライトアップ

夕暮れ以降（17:30～21:00）は、会場内をライトアップ。お花のアート作品にも光を灯し、煌めく幻想的な“お花の美術館”に様変わり！昼と夜とで異なる「FLOWER GARDEN 2025」をお楽しみください。



過去開催時のライトアップイメージ

■春休みの思い出にぴったりの「みんなでつくる花壇」

イベント初日、事前に公募で募った希望者10組のお客様に、FLOWER GARDEN 内の最後のエリア一画にお花を植えていただく企画「みんなでつくる花壇」を実施いたします。春休みの思い出作りはいかがでしょうか。

・開催日時：3月28日（金）10:00～

・お申込み方法：特設サイトにて3月上旬ごろに申込ページのリンクを公開予定



花壇イメージ

■最終日のお花の“無料配布”

毎年恒例の人気企画！サステナブルな取り組みの一環として、会場で使用した一部のお花をイベント最終日4月20日（日）13:00～無料配布します。ご自宅でも季節のお花に彩られる日常をお楽しみください。

※無くなり次第終了。

■横浜赤レンガ倉庫1・2号館との連動キャンペーン

横浜赤レンガ倉庫1・2号館内のショップやカフェ・レストランでも、旬の食材を使った逸品や春らしい華やかなドリンク・スイーツ、カラフルなグッズなどを各店展開します。

●NENE CHICKEN&JIJIMI GO

(2号館1F)

春の花のピビンバ



鮮やかなエディブルフラワーとほうれん草、にんじん、もやし、ゼンマイなどのナムルで作ったヘルシーなピビンバです。

●chano-ma (2号館3F)

ポタニカルレモンソーダ



パタフライピーのシロップで色付けし、花束をイメージした華やかなレモンテイストのドリンクです。

●Huffnagel (2号館1F)

SAKURA / 桜あんバター



人気のあんバターに桜の花を加えた春限定のバターサンド。ソルティースウィートな和テイストをお楽しみください。

<近隣連携>

【ガーデンネックレス 2025】

ガーデンネックレス横浜は、2017年に開催した全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承し、花と緑にあふれる「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクトです。

2025年も、美しい港の風景や洗練されたウォーターフロントの街並みを背景に表情豊かな花々を楽しめる「みなとエリア」や、昔懐かしい里山と柔らかな色合いの花々が織りなす「里山ガーデン」、市の花・バラをテーマにした街歩き型イベントなど、花々で色鮮やかに彩られる横浜をお届けします。

『FLOWER GARDEN 2025』では連携施策として、『FLOWER GARDEN 2025』の会場内に、今年もガーデンネックレスのマスコットキャラクター「ガーデンベア」のオブジェが登場します。



ガーデンベア
©ITOON_GN

- ・会期：2025年3月中旬～6月中旬
- ・会場：みなとエリア（都心臨海部）、里山ガーデン（イベント名：里山ガーデンフェスタ）
- ・HP：<https://gardennecklace.city.yokohama.lg.jp/top/>

【ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち】

本展は、アール・ヌーヴォーの代表的な画家・デザイナーとして人気の「アルフォンス・ミュシャ」の世界をリアルとデジタルの双方向から体感できる展覧会です。曲線や幾何学的な模様を使った装飾性の高さから“線の魔術師”といわれるミュシャならではの作品を、実物の展示と高精細のプロジェクターを用いた映像空間にてお楽しみいただけます。

『FLOWER GARDEN 2025』では連携施策として、『FLOWER GARDEN 2025』会場内にミュシャの代表的な連作「四つの花」のフォトスポットを設置します。



『ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち』
キービジュアル

- ・会期：2025年4月18日（金）～5月18日（日）
- ・会場：横浜赤レンガ倉庫1号館3階
- ・HP：<https://much-immersive.com/>

<後援イベント>

【GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）】

「GREEN×EXPO 2027」は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に、AIPH（国際園芸家協会）の承認に加えBIE（博覧会国際事務局）の認定を受けて2027年に横浜で開催される国際的な博覧会です。「幸せを創る明日の風景」をテーマに、地球規模の環境課題の解決にアクションするビッグイベントです。是非ご注目ください。

『FLOWER GARDEN 2025』では連携アクションとして、GREEN×EXPO 2027の公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」のパネルを『FLOWER GARDEN 2025』会場内に設置します。

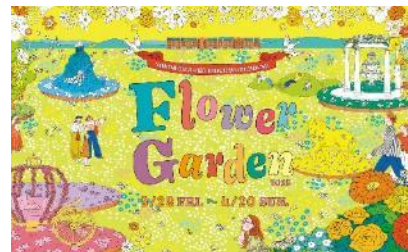


©Expo 2027

- ・会期：2027年3月19日（金）～2027年9月26日（日）
- ・会場：横浜市 旧上瀬谷通信施設
- ・HP：<https://expo2027yokohama.or.jp/>

<開催概要>

- ・期 間：2025年3月28日（金）～4月20日（日）計24日間
※雨天決行、荒天時は休業することがあります
※ライトアップ 17:30～21:00、キッチンカー・週末マルシェ 11:00～18:00
※3月28日(金) は11:00 オープン
※4月20日(日) は13:00 より会場で使用した花を無料配布、18:00 イベント終了。
- ・会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 1-1）『FLOWER GARDEN 2025』キービジュアル
- ・主 催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・協 力：横浜市（ガーデンネックレス横浜実行委員会）
- ・後 援：公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
- ・特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/brickjournal/detail/129>



<SDGs への取り組み>

『FLOWER GARDEN 2025』では、SDGs への取り組みを積極的に行なっています。

◎プラスチック製品の削減：

環境に配慮したカトラリー類や包装材を使用し、プラスチック削減に取り組みます。

◎花の100%再利用：

来場者へのプレゼントや造園会社での肥料化など、100%再利用に取り組みます。

◎木材の再利用：

残った花苗やガーデンで使用した木材の肥料化・ウッドチップ化など、再利用に取り組みます。

◎花育：

横浜デザイン学院、日本ガーデンデザイン専門学校の学生さんと連携して、お花にまつわる作品などを展示するほか、花の写真や説明の看板を会場内に設置し、花育に取り組みます。

◎近隣イベントとの連携：

横浜市内で開催される「ガーデンネックレス横浜」や「2027年国際園芸博覧会」と広報連携し、イベントを通じたエリア一帯の賑わい創出を図ります。

ー横浜赤レンガ倉庫についてー

横浜赤レンガ倉庫は、創建100年を超える歴史的建造物を活用した文化・商業施設です。当時の倉庫の面影を残した館内には様々なショップやレストラン・カフェが軒を連ね、二棟間の広場では四季折々のイベントを開催。これまでに累計1億2千万人以上の方にご来館いただいています。施設に隣接する赤レンガパークは、横浜港を臨む開放的なロケーションが魅力で、観光で訪れた方だけでなく、ランニングやワンちゃんとの散歩など多くの方が行き交い、思い思いの時間を過ごせる場に。港を行き交う船やみなとみらいの景色を眺めたり、芝生に座ってくつろいだり、目の前の栈橋からはクルーズ船の船旅もお楽しみいただけます。

また、2022年12月のリニューアルをきっかけに、サステナビリティへの取り組みを強化しています。2023年11月には、横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」における最上位『Supreme』を取得するなど、地球環境と横浜赤レンガ倉庫に訪れるお客様が重要なステークホルダーであると認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指します。

<施設概要>

- ・施設名：横浜赤レンガ倉庫
- ・所在地：神奈川県横浜市中区新港 1-1
- ・営業時間：1号館 10:00～19:00、2号館 11:00～20:00
※カフェ・レストランは店舗により異なる
※1号館ホール・スペースは催事により異なる
- ・ホームページ：<https://www.yokohama-akarenga.jp>

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更となる可能性がございます。

※画像はイメージです。過去のイベントの様子が分かる画像を使用しています。

<本件に関する一般向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 2号館インフォメーション 電話：045-227-2002(代) ※受付時間：11:00～20:00



サステナビリティコンセプト ロゴ